

個々人にとって必要な情報を容易に取得できるツール  
「マイ・水害情報（仮称）」の作成に向けて

## ＜今回の論点＞

### 【作成】

1. 対象ハザード（洪水、土砂災害、高潮、津波、地震など）
2. 対象範囲（試行版は近畿全域など）
3. 情報発信内容（避難情報、川の水位、想定浸水深など）
4. 現在地情報の登録方法（GPS活用、タイプ入力など）
5. 多言語対応

### 【利用】

6. 情報の取得方法（プッシュ型配信機能の有無など）

### 【活用】

7. 各メディアにおける活用方法
8. 社会への浸透方法